

## &lt;構想の名称&gt;

## いわてエコウォーキングエリア形成

## &lt;背景とねらい&gt;

- ・ 岩手県は本州一広い面積と豊かな自然環境ならびに平泉文化に代表される歴史・文化的遺産などに恵まれている。
- ・ 主な地域を形態別に列挙すると以下のとおりである。
- ・ これらの地域や施設は観光スポットとしてだけの位置づけに留まっており、観光バスやマイカーで訪れ、そのスポットで一定の時間を過ごして次のスポットに移動して時間を過ごし、帰途に着くのが一般的である。
- ・ このような観光のあり方だけでは、岩手県のすばらしさを内外に理解・発信できていないのではないかと感じている。
- ・ そこで、環境に優しく健康的に岩手の観光をゆっくり体感してもらうというコンセプトから、時間に余裕のある定年退職者層(中高年層)をターゲットに公共交通機関を利用しての観光スポットを拠点としたウォーキングエリアの形成を行い、歩くことによる地元住民とのふれあいの機会を増やし、岩手県を十分に満喫してもらうことにより、「いわて」のファンを増やしていく。
- ・ また、ターゲットを定年退職者層としたのは、近年、この世代の自然・健康志向の高まりで登山がブームとなっているが、体力以上のコースに挑戦して事故に遭遇する事例も多くなっているため、登山に比べて安全で健康的に自然を体感できる観光としての潜在需要はこれからの年代別人口成からもかなりあるものと想定される。

## &lt;構想の基本的考え方&gt;

1. 中高年層をメインターゲットに岩手県の自然と歴史的遺産を徒歩で巡り体感してもらう。
2. 観光スポットを中心に中高年層に合わせた平坦なウォーキングコースの設定をする。
3. 観光スポットまでの移動を鉄道をメインの公共交通機関を利用することにより、環境負荷も考慮した観光の形態とし、エコウォーキングのメッカを目指す。

## &lt;構想に基づく取組等の概要(具体的な内容)&gt;

- ・ 県内新幹線駅から観光スポットまでを在来線利用のコース設定をする。
- ・ 観光スポットを拠点に体力に合わせた距離のコースを何通りか設定する。(ウォーキングエリアの設定)
- ・ ウォーキングエリアは、地域住民の生活圏とし、トイレ、給水など休憩スポットを設置する。休憩スポットは民家の協力や道の駅などの施設も活用できるようにする。
- ・ 民宿も含めた宿泊施設の案内もコースに組み入れ、日帰りから連泊まで自由度のあるコース選定を可能にする。
- ・ 四季を通じた見所も網羅した「いわてエコウォーキングエリア」のパンフレットを作成し、JR等と提携した旅行パックとしてPRする。
- ・ 県内全コース制覇した人(50%制覇等)を表彰と副賞を授与し、リピーター増加につなげる。
- ・ 緊急医療体制が機能するように、休憩スポットは携帯電話のエリアなるようにし、安心してウォーキングできることをセールスポイントの一つにする。
- ・ コースは自然景観としての「三陸海岸(碓石海岸, 浄土ヶ浜, 鷲ノ巣断崖, 北山崎~黒崎, 小袖海岸 etc)」「北上川流域とその支流(猊鼻溪, 巖美溪, 展勝地, 錦秋湖, 田瀬湖, 御所湖 etc)」「洞窟

(龍泉洞, 安家洞 etc)」

- ・ 歴史・文化遺産としての「平泉, 宮沢賢治, 石川啄木, 遠野物語 etc」
- ・ 温泉保養施設としての「湯田温泉, 花巻温泉, 繋温泉, 鶯宿温泉, 金田一温泉 etc」

<三陸海岸コースの一例>

【碓石海岸+浄土ヶ浜コース】

新幹線一関駅 大船渡線 碓石海岸ウォーキングエリア 宿泊 大船渡線 浄土ヶ浜ウォーキングエリア 宿泊 宮古駅から山田線 盛岡から新幹線で帰途

<取組にあたっての役割分担(県・県民・NPO・企業・団体・市町村など)>

- ・ 県:ウォーキングエリアの発掘・選定, インフラ整備
- ・ 県民: ウォーカーとのフレンドリーなふれあい
- ・ NPO: ウォーキングエリアにおけるガイドとして協力
- ・ 企業:旅行パック企画(旅行会社や JR 等)
- ・ 市町村: インフラ整備への協力